



仲間と共に

令和3年度 <三輪南小 学校だより> 令和3年11月30日



「楽しもう！」を合言葉に取り組んだ「学年部別ミニ運動会」

校長 小野木 義浩

11月下旬の気候とは思えない程、動くと思えば汗ばむような陽気の中、11月20日に運動会を行いました。新型コロナウイルス感染症予防として密を避けるために「学年部別ミニ運動会」という形で行いました。今回は、お願いをして、参観者を家族一人に制限すると共に、例年は、たくさんご招待して来ていただく来賓の方々も運営協議会委員の方にしほり、密を避けるようにさせていただきました。来年度は、新型コロナウイルスが終息し、たくさんの方々に参観していただき、大きな声で子供たちの頑張りを応援してもらえたらと願っています。

手探りの中で準備を進め、不備もあったと思いますが、出会った保護者の皆様から「どんな形であっても、コロナ禍で運動会ができるように進めてもらったのがよかったです。」「学年部別の運動会も、見やすいし、上の学年の子は下の学年の子の手本になろうと頑張るし、下の学年の子は、上の学年の子から見て学ぶ姿があるからよいものだなと感じました。」などの感想をいただきました。

さて、子供たちにとって保護者の皆さんに見ていただくという応援の力は絶大でした。低・中学年の子供たちは、笑顔で指先までぴんと伸ばして踊ったり、体全体でいきいき表現したりする姿や順位は関係なしに最後まで必死に走る頑張りの姿などが多くの場面で見られました。子供たちは大声を出せないため、心のこもった拍手で声援を送っていました。拍手の仕方と気持ちが伝わることを学んだ子供たちでした。一生懸命さの中に「楽しむ」という今回の運動会スローガンにつながる姿は、低・中学年の子供たちの宝物になったと思います。高学年は、「自分で・自分たちで」でできたことに価値があります。器具の準備や片付けなど受け持った役割を素早く動いてしっかりと果たそうとする姿が目立ちました。高学年のスローガン「考動（こうどう）：考えて動く」につながる素敵な姿でした。

「自分で・自分たちで」考え、仲間と協力して行動するという目指す姿につながる令和3年度の学年部別ミニ運動会になりました。ご協力ありがとうございました。

いよいよ12月が始まります。一度立ち止まって、この1年間の「自分」を振り返る月にしたいです。

<運動会の一コマ>



高学年 工夫を凝らした玉入れ



低学年 全力で走る！



高学年 責任をもって動く



低学年 楽しい！「パプリカ」



中学年 ダンス「バター」



中学年 息を合わせて！！



高学年 歯を食いしばって